

# 海外展開に向け一歩一歩ステップアップ

1898年創業の老舗創作竹工芸品メーカーの公長齋小菅。  
象徴的なアイテムである花籠をはじめ、ざるや盛り籠のほか、  
竹を使った弁当箱や皿、カトラリーなど、竹の可能性を広げるさまざまな商品を販売しています。  
ジェットロのジャパンパビリオン事業を活用し、1月にパリで開催された  
世界最高峰のインテリア・デザインの総合見本市「メゾン・エ・オブジェ」(以下、メゾン)に  
初の単独出展を行った同社の小菅常務取締役役インタビューを行いました。

## 共同ブースから単独出展へ

本格的に海外事業に取り組み出したのは2012年からで、あるブランドのブースの一部を借りてメゾンに出展していました。世界最大規模のメゾンには世界中からあらゆるバイヤーが来場しているので、毎回新たな出会いや発見があることが魅力です。

今回は単独出展でしたので、ブースデザインや輸送、出展PRや事前事後の営業活動など私一人で担当するのはとても大変でした。特に、自社のブランドをどのように表現するべきか、リーフレットやブースデザインを考えるにあたり大変悩みましたが、経験豊富なジェットロの専門家に相談できて大変心強かったです。課題を一つ一つクリアしていき、これまで以上に自社ブランドの世界観を深く表現したブースになったと思います。おかげでバイヤーとも密度の濃い商談ができ、成果を多く持ち帰ることができました。



常務取締役の小菅 達之さん

## 海外展開に取り組むにあたって

中小零細企業が本気で海外展開を目指すには、新たな投資や手間が増えるので、かなりの覚悟が必要です。工芸関係で海外を目指す事業者の場合、経営者自身や少数で海外事業を担っているケースがほとんどだと思います。弊社も海外事業の担当は私一人。当初は、相談できる人もいない中、外国企業とのコミュニケーションに戸惑うことも多くありました。慣れない英語でのやりとりの上に、日本人のようにキッチリ返事がもらえない中でも、あきらめずに泥臭く取り組み、最近ようやく慣れてきたところです。

今回の単独出展を踏まえ、すでに来期のメゾン出展に向けたブースの打ち合わせを始めました。まずは、海外事業担当者や専門部門を設けられるような売上げを目標に、いずれは海外百貨店に自社ブランドのコーナー設置や、実店舗を持ってブランド発信したいと考えています。



株式会社公長齋小菅

住所 / 京都市中京区油小路通  
姉小路下る宗林町 88番地

TEL / 075-253-1186

URL / <http://www.kohchosai.co.jp/>

## ごあんない ジェットロのジャパンパビリオン利用のメリット

- 出展手続きの簡略化。主催者との調整はジェットロが代行
- 日本企業が固まって出展することによる広報効果・集客効果
- 一部出展経費の補助

海外展示会へご出展される際は、是非ご活用ください。

ジェットロ・ジャパンパビリオン



【問合せ先】  
日本貿易振興機構 (JETRO)  
京都貿易情報センター

JETRO

所在地 / 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
京都リサーチパーク2号館2階

TEL / 075-325-5703 FAX / 075-325-5706

E-mail / [KYO@jetro.go.jp](mailto:KYO@jetro.go.jp)

URL / <http://www.jetro.go.jp/indexj.html>